

◆平成28年度『子ども読書活動推進スキルアップ研修会』

9月14日(水)、大崎町中央公民館において、大隅地区の保育園・幼稚園、小・中学校、図書館等職員、PTAの方々を対象に標記の会が開催されました。

鹿児島大学の原田義則先生の講演や、大崎小学校親子読書会、大崎町立図書館などの読書活動等の事例発表、『読み聞かせ』『ブックトーク』『アニメーション』の三つの分科会が行われました。



子どもの読書活動を推進するために、周りの大人がどう関わればよいのか、そして関わるために、自らのスキルをアップするためのさまざまな方法について学ぶことができました。

参加者からは「明日から早速実践していきたい。」などの声が多く聞かれました。

◆学校においでください！～「地域が育む『かごしまの教育』県民週間～

鹿児島県では、毎年11月1日～7日を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」と設定し、大崎町でも、『大崎町学校参観週間』として、学校への訪問や参観をお願いしています。

普段見ることができない子どもたちの授業の様子や先生方の頑張り、学校の様子をぜひ見ていただきたいと思います。毎年、行事には多くの方がおいでくださいますが、この機会に授業の様子も参観してください。子どもたちの笑顔や真剣な表情など、学校でしか見られない様子を見ることができるとと思います。ご家族、ご親戚、ご近所の皆さん、お誘い合わせの上、どうぞお気軽においでください。

まぶの窓おしの庭

『家庭環境と学力の関係』

No.39 野方小・大崎中学校医 春別府 稔仁

わが子の学力向上を望まない親御さんはいないでしょう。『学校や塾で一生懸命勉強して志望校へ進学する』そんな思いで親も子どもも頑張っています。

実は学力向上には学校や塾の勉強だけではなく、家庭環境も大きく影響していることをご存じでしょうか。

朝食を食べる子どもは成績が良いと言われます。朝食を摂ると体温が上がって体が目覚め、体と脳にエネルギーが補給されて学習に適した体調が整います。親が朝ごはんを食べない家庭では、子どもも朝ごはんを食べなくなるようです。また睡眠時間が少ない夜型の子どもは、日中の活動性が低く、学力テストの点数が上がりにくいと言われています。難関大学に合格した人の多くは日ごろの睡眠時間が6時間以上で『朝型勉強』を行っています。遅い夕食やテレビゲームやスマホに費やす時間が長いと、家庭での学習、睡眠時間が短くなります。

さらに体力も学力向上に影響します。体力テストの成績が高い都道府県ほど学力テストの成績が高いのです。体力作りは有償のスポーツクラブなどに通わなくても、部活や屋外での遊びで十分足りるから、テレビゲームやスマホの時間を運動や屋外活動に使って体力作りに努めるべきですね。朝ごはんも体力作りに欠かせません。朝ごはんを食べる子は食べない子より体力で勝っています。

家庭環境が学力向上へ及ぼす影響は本当に大きいのです。健やかで向上心あふれる子どもたちを育む豊かで良質な環境を、ぜひ家庭でも作ってあげてください。